

## にぎわい交流館休館中（4月～5月）の団体の活動についてのアンケート結果

日進市にぎわい交流館

### 【アンケート概要】

アンケート期間：令和2年5月9日（土）～5月20日（水）

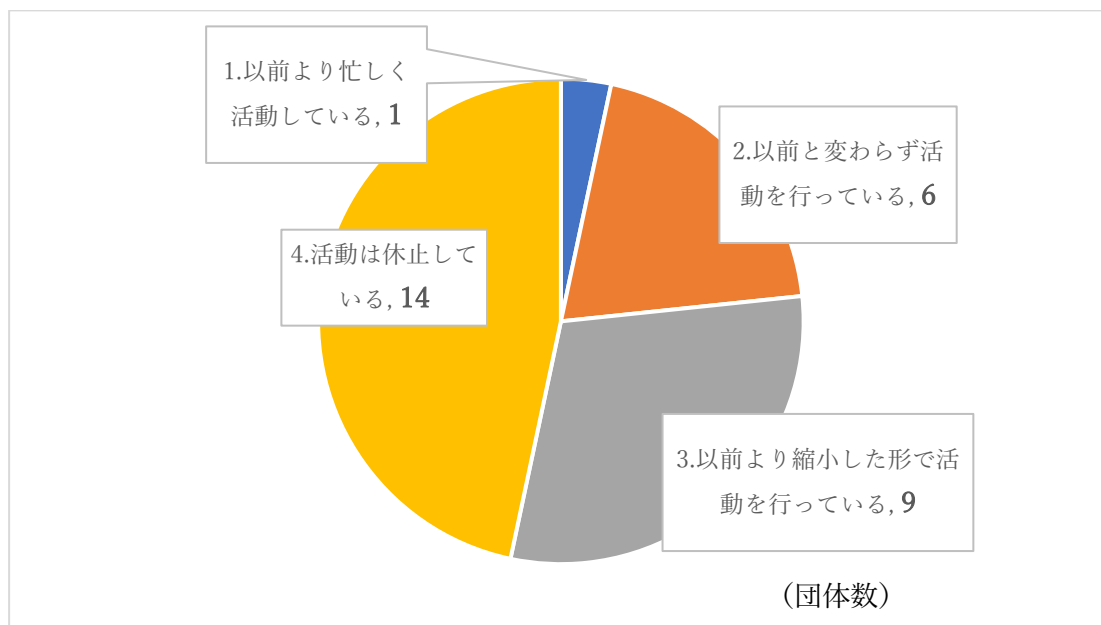
送信方法：登録団体にメール 回収方法：Google フォーム、メール

回答数/送信団体数：31件/222件（回収率 14%）

ご回答ありがとうございました。

### 【アンケート結果】

1) 団体として、休館前とかわらず活動できていますか？



※無回答 1

・77%の団体が活動を縮小または休止しています。

2) (1で活動を行っている方へ) どんな活動をしていますか? (抜粋)

- ・資料郵送、オンラインでの打ち合わせ (5)
- ・会員への電話連絡、資料郵送 (2)
- ・農作業 (3)
- ・国際研修準備、AHI 初めて講座、オープンハウス実行委員会など
- ・月一回の出店がないため、農協出荷を始めました。
- ・現地からの要望品を集めて送ること
- ・フードパントリー
- ・市への要望書の提出
- ・主に電話やメールなどで、野良猫に関する苦情や悩みの相談受付 (緊急時は、無理のない範囲で現地対応)

3) 団体の活動において、困っていることはありますか?

- ・セミナー、ワークショップ、シンポジウムなどの開催、計画ができない (6)
- ・活動場所が使えない (3) →モチベーションの低下、資料作成ができない
- ・団体内の打ち合わせができない (3)
- ・特になし (2)
- ・国内の活動 (講座、実行委員会) はオンライン会議で進めている。参加型が基本的なアプローチなのでオンラインでは難しい。
- ・活動内容が、小集団で1時間ほど話し合う形態。近くで密接になるので、再開後どのように配慮していくかを検討することです。
- ・対面で行う活動が主なので活動が難しい。
- ・サークル活動ができないため、休会者が増えている。
- ・会員の高年齢もあり安心安全を優先に休止中
- ・会員のモチベーションの低下
- ・計画予定事業の中止と活動収入減
- ・活動資金枯渇
- ・譲渡会が開催できないため、保護猫の里親が見つからない。
- ・新しく出会うことがない
- ・会員の高齢化

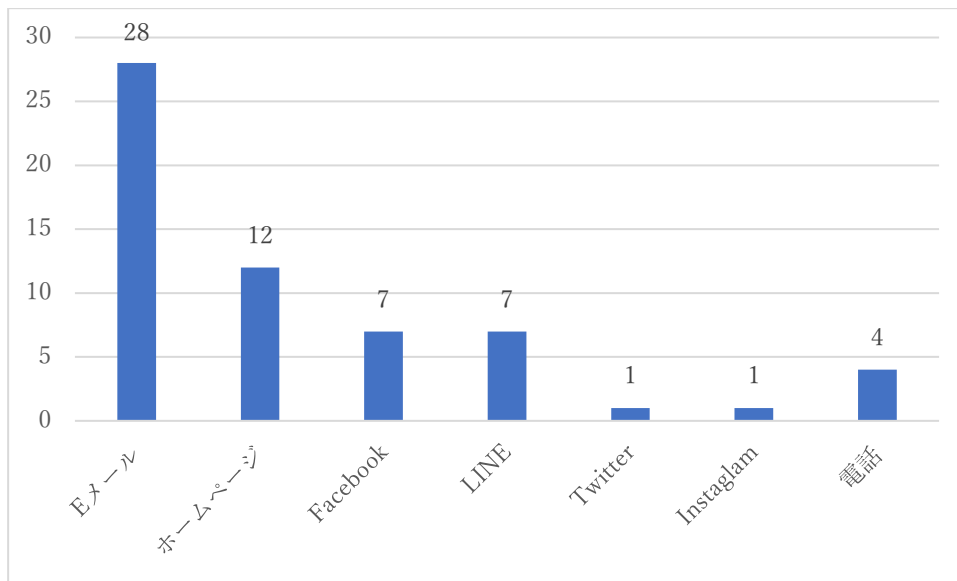
4) コロナウイルス感染症の収束後、どんな活動をしたいですか？

- ・以前と同内容、計画していた活動の再開 (17)
- ・たくさん市民を集めたイベント
- ・キャリア支援ワークショップ
- ・通常の業務に加え、ZOOM などを使って遠方の会員、海外の研修生などとの会合の開催
- ・今までの活動に加え、免疫力を高めるために役立つ講座や料理教室
- ・アンケート調査の実施、シンポジウムの検討、クラウドファンディング
- ・市民活動祭を開催してほしい
- ・少人数でも良いから、集まりたい。困っていること、工夫していることなどを交流したい。

5) 休館中、にぎわい交流館にどんなサポートを求めたいですか？(情報提供、相談など)

- ・印刷機や紙折り機をお借りしたい。(3)
- ・持続化給付金やコロナ影響での活動自粛後の補助金や助成情報 (3)
- ・今まで通りの情報提供をしてほしい (2)
- ・自粛が解除された後、どのように感染防止に向け対応していくべきか、情報が欲しい。
- ・休館が長引くようであれば、アンケート調査の実施のサポートをいただくと助かります。
- ・文房具等寄贈品集め→希望団体に渡す
- ・「コロナ感染症」収束後の今後の行事予定を知りたい
- ・他の団体が活動されている様子を伺いたい
- ・団体に対するサポートではないですが、わいフェスのあり方についてじっくり考えるためのアンケートを全団体にしてほしいです。来年までの期間をかけて本当の意味で「市民が作る祭」にするために根本的なことから考えられないでしょうか。出展しない団体の理由も聞いてみたいです。以前の「エコフェスタ」や「ハーモニーフェスタ」のほうがよかったという人もいますし議会でも話題になっています。
- ・TELにて相談できれば問題なし

6) どんな媒体で情報を受け取ることが望ましいですか？(複数回答可)



7) 団体の構成メンバーににぎわいからの情報をどうやって伝えていますか？

